

令和7年1月・2月 宮前を知る会 連続講座

南武線と 軍需工業都市の展開

講師 谷 拓馬氏 (川崎市市民ミュージアム)

多摩川砂利鉄道は1920年に南武鉄道にかわり、浅野セメントの経営支配を経て、沿岸や南武線沿線に、最新の軍需工場が、次々に造られていった。

そのため、米軍から最重点の攻撃目標の一つとされ、焼け野原となった川崎はどう変わっていったのか。

令和6年度に発足した「宮前を知る会」も、本年度残り2回になりました。2回共講師は川崎市市民ミュージアムの学芸員で、修士論文、博士論文の時の内容を川崎市に勤めてから、さらに研究を進めてきた内容を依頼しています。おおいに期待して多数お越しください。

本事業は「令和6年度 宮前区まちづくり協議会 活動支援金」を受けています

期 日 1月26日(日) 午前9時40分 受付開始
午前9時50分 講座開始

場 所 宮前区区民活動支援コーナー(宮前区役所1階)

募集人員 20名

参加費 無料

申し込み ①メールで

1月14日(火)から1月20日(月) 先着順

《mym24siru@ymail.ne.jp》へ(氏名記入)

②現地受付(宮前区区民活動支援コーナー)

1月15日9時30分から12時 直接お越し下さい

◎当日欠席の場合は前日までに連絡してください。

◎マスクの着用は個人の判断に委ねることを基本とします

宮前を知る会

幕末期の

川崎の磯付村と荏原郡羽田村

講師 菊地 悠介氏(川崎市市民ミュージアム)

幕末の橘樹郡の大師河原の周辺の村々と羽田村の境界の画定には、幕府や代官の力だけでなく、両地区の住民の長年の争いがあった。その経緯を中心に江戸時代の歩みを中心に、明治の海苔稼ぎ、昭和の工業化、昭和40年代の漁業権放棄まで、探っていこう。

令和6年度に発足した「宮前を知る会」も本年度最後の1回となりました。講師は川崎市市民ミュージアムの学芸員で、修士論文、博士論文の時の内容を川崎市に勤めてから、さらに研究を進めてきた内容を依頼しています。おおいに期待して多数お越しください。

本事業は「令和6年度 宮前区まちづくり協議会 活動支援金」を受けています

- 期 日 2月9日(日) 午前9時40分 受付開始
午前9時50分 講座開始
- 場 所 宮前区区民活動支援コーナー(宮前区役所1階)
- 募集人員 20名
- 参加費 無料
- 申し込み ①メールで
1月31日(金)から2月6日(木) 先着順
《mym24siru@ymail.ne.jp》へ(氏名記入)
②現地(宮前区区民活動支援コーナー)受付
2月1日(土)9時30分から12時 直接お越し下さい

◎当日欠席の場合は前日までに連絡してください。

◎マスクの着用は個人の判断に委ねることを基本とします